令和五年度　ほっかいどうチャレンジテスト
二学期末問題（第三回）国語　小一　【児童用】　こたえとたしかめ

組　番　なまえ

■こたえ

一
1　わたしは、がっこうへ　いきました。
2　こくごの　べんきょうを　しました。

二
1　ぼくは、うたを　うた　いました。
2　ぼくは、じてんしゃ　に　のりました。
3　わたしは、ボールを　なげ　ました。（「うちました」でも　よいです。）

三
1　えいじくん（「えいじ」でも　よいです。）
2　上をむいて（ないていた。）

■かんがえかた
三　お話を　よむ　ときには、「だれが、なにをしたか。」　などが　わかる　ことばや　文に　きを　つけて　よむ　ことが　たいせつです。

とりくんでみよう！

○　つぎの　えに　あう　ことばに　なるように　□に　かんじを　かきましょう。

ども

のぼり

こたえ　一　子　二　木

令和五年度　ほっかいどうチャレンジテスト　こたえとたしかめ
二学期末問題（第三回）国語　小二　【児童用】

組　番　なまえ

■こたえ

一　1①　なえ（が）

②　さいたあと（に）

2①　さわった　（「さわる」は、まちがいです。）

②　におい

二　1（れい）羽はまだやわらかく、色もうすく黄色い。

2　二、三日（後）

■考え方

一　1　【田中さんの　メモ】の　どこを　つかって、【田中さんの　「かんさつカード」】が　書かれているかを　考える　ことが　大切です。

2　メモと　「かんさつカード」に　書かれていることを　くらべて、かんさつしたことが　よくつたわるように　つけたしたことを　えらびます。

二　1　ほたるの　せいちょうの　ようすを　じゅんじょに　気をつけて　読むことが　大切です。

2　書かれている　じゅんばんだけではなく、「二週間後」、「二、三日後」　などの　ことばも　じゅんじょを　考えるための　ヒントに　なります。

取り組んでみよう！

■　つぎの　――線部の　カタカナを、漢字で　ていねいに　書きましょう。

1　イモウトと　あそぶ。（　　）

2　花の　エを　かく。（　　）

3　ウミで　あそぶ。（　　）

4　学校から　チカい。（　　）

こたえ

1　妹　2　絵　3　海　4　近

令和五年度　ほっかいどうチャレンジテスト　答えと確かめ
二学期末問題（第三回）国語　小三　【児童用】

組　　番　氏名

■正答

一　1　【司会①】ウ　　【司会②】イ　　【司会③】ア

2　（れい）　わたしは、「力を合わせて」です。理由は、みんなの心をひとつにして、運動会の練習ができると思ったからです。

※自分なりの合い言葉を書いていることと、その理由が書かれている場合は正かいです。

二　1　3（だん落から）6（だん落まで）

2　ウ

■考え方

一　1　司会がどこでどんな言葉を使って進行すると、司会の役わりを果たすことができるかを考えることが大切です。

2　それぞれちがう意見をもっているので、意見にはなぜそう考えたかの理由をつけることが大切です。

二　3だん落には、チャイムやサイレンなどの音の合図の例があり、4だん落にはそのよさが説明されているなど、それぞれのだん落で説明されていることやそのつながりを考えることが大切です。

取り組んでみよう！

■　次の――線部のカタカナを、漢字でていねいに書きましょう。

1　秋を　カンじる。　（　　）

2　木の八を　あつめる。　（　　）

3　コオリで　ひやす。　（　　）

4　モノを　うる。　（　　）

答え　1 感　2 葉　3 氷　4 物

令和五年度　ほっかいどうチャレンジテスト　答えと確かめ
二学期末問題（第三回）国語　小四　【児童用】

組　　番　氏名

■正答

一　1　A…③～⑦
　　B…⑧

　　2　（例）　ムササビは、飛まくで風を受けたり、長い尾を船のかじのように使ってバランスをとったりできる（ので、……）（四十四字）

二　1　エ

　　2　ア…3
　　イ…1
　　ウ…2（完全解答）

　　3　（例1）遠くの市や町と力を合わせていることにおどろきました。（二十六字）
　　（例2）近くの市や町だけでなく多くの人たちがかかわっていることがわかりました。（三十五字）

■考え方

一　1　【文章】の段落③～⑦には、ムササビの「飛まく」について、段落⑧には、ムササビの「長い尾」について書かれています。

　　2　山田さんが伝えたいことは、ムササビが木から木へ空中をすべるように飛んで移動できる仕組みです。そのことが段落③～⑧に書かれているので、ムササビの「飛まく」と「長い尾」の二つについて書くと正答になります。

二　2　手紙の後付けを書く位置には意味があります。例えば、あて名を最終行の上の位置に書くことであらたまった気持ちを伝えることができます。

　　3　手紙をだれに、何のお礼を伝えるのかを決めてくわしく書くと、気持ちがより相手に伝わりやすくなります。

取り組んでみよう！

■　次の――線部のカタカナを、漢字でていねいに書きましょう。

1　オクジョウに上がる。（　　）

2　エキに着く。（　　）

3　矢をハナつ。（　　）

4　ビョウインに行く。（　　）

答え　1　屋上　2　駅　3　放（つ）　4　病院

令和五年度　ほっかいどうチャレンジテスト　答えと確かめ

二学期末問題（第三回）国語　小五　【児童用】

組　　番　氏名

■正答

一　1　ウ

2　（例1）どんなふうに声をかけていますか。（十六字）
（例2）どのように声をかけたらよいですか。（十七字）

3　（例1）特に、ボール遊びは、急にボールが飛んでいくこともあるので、気をつけたほうがよいようです。（四十四字）
（例2）特に、ボール遊びは、はしのほうで低学年の子たちも遊んでいることがあるのであぶないそうです。（四十五字）
※ボール遊びがあぶない理由が書かれており、文末が聞いたことを伝える言い方になっている場合、正答とします。

二　1　B（社）

2　A（社）
（例1）最優秀選手である藤本選手が写っているから。（二十一字）
（例2）B社の記事には、藤本選手のことが書かれていないから。（二十六字）
※どちらも合っていたら正答

3　（例1）（試合後の岩佐かんとくのコメントを書くことで、）世界を見すえてちょう戦を続ける宮城マックスのことを伝えたい。（三十字）
（例2）（試合後の岩佐かんとくのコメントを書くことで、）世界を見すえて意気ごむ、かんとくの強い思いを伝えたい。（二十七字）
※その他、試合後のかんとくのコメントから伝わったことが書かれていれば、正答とします。

■考え方

一　3　インタビューをするときは、自分はどのようなことを聞きたいのか、聞いた内容をどのように生かそうとしているのか、そのためにどういったことを相手から聞き出したいのかなどを明らかにして聞くことが大切です。

取り組んでみよう！

○　次の文は、地域の人や保護者に発表会の案内をする手紙の一部です。［ア］、［イ］に入る内容の組み合わせとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

発表会に向けて、ぼくたちは心を合わせて歌の練習に［ア］ので、ぜひ［イ］ください。

1　ア　はげんでいらっしゃいます　イ　うかがって
2　ア　はげんでいます　イ　うかがって
3　ア　はげんでいらっしゃいます　イ　来て
4　ア　はげんでいます　イ　来て

番号［　　］

答え［ヤ］

令和五年度　ほっかいどうチャレンジテスト　答えと確かめ

二学期末問題（第三回）国語　小六　【児童用】

組　番　氏名

■正答

一　1　方言
　　2　ウ
　　3　（例）初めて聞く言葉にわくわくしました（十六字）
　　4　（例１）（共通語は、）どの地域の人にも通じる言葉である（二十一字）
　　（例２）（共通語は、）だれでも分かり、正しく伝えるにはよい（二十三字）
　　（例３）（共通語は、）ていねいな感じがして、観光客が気持ちよく過ごせる（二十九字）

二　1　イ
　　2　（投稿）７
　　3　（例１）（わたしは、）読者Ａさんの「無理な負担（ふたん）をかけてまでスポーツをすることはない」という意見に反対です。なぜなら、練習方法を見直したり、試合の作戦を変えたりすれば、体をこわさないと思うからです。（八十七字）
　　（例２）（わたしは、）スポーツは勝利を求めてやるからこそよいという投稿二の意見に反対です。理由は、勝ち負けだけではなく、上手になりたいという気持ちや楽しみたいという気持ちでスポーツをすることが大切だと思うからです。（九十六字）

■考え方

一　4　話合い活動では、立場が異なる場合においても、たがいに言い負かすことを話合いの目的とするのではなく、異なる立場からの考えを聞き、意見の基となる理由をたずね合うことで、たがいに考えを広げたりまとめたりすることが大切です。

二　1　この投稿（とうこう）は、自分の意見が述べられ、その理由付けとして適切な事実や事例を挙げている構成であることから、どこが書き手の意見なのかに着目して情報をとらえることが大切です。

　　2　書き手が読み手を説得したり、共感してもらうために理由を付けたり、根きょを挙げたりしている部分に着目します。投稿７は「ことわざや格言を使う」くふうをしています。また、投稿４は「自分の経験を述べる」、投稿５は「具体的な数値を使う」、投稿６は「有名な人の言葉を引用する」など、読み手を説得させるためのくふうをしています。

　　3　投稿１と投稿２を読み比べ、書き手の主張がどこに書かれているか見付けます。自分は、どちらの投稿の主張に支持できないのかを考え、投稿に書かれている理由や事例を参考に、自分の考えを明らかにすることが大切です。

取り組んでみよう！

○　次のアとイの言葉を、例のように、ローマ字でていねいに書きましょう。また、ウのローマ字は、ひらがなでていねいに書きましょう。

答え

例　にじ　nizi

ア　でんわ　denwa

イ　きって　kitte

ウ　しゅみ　syumi